

『電車』（8月17日配信）

ローカル電車は、ドアに違いがあります。東京と埼玉の一部では電車は自動ドアですよね。でも群馬や栃木は自動ではありません。ドアの横のボタンを押してドアを開け乗り込んだら、車内のボタンを押してドアを閉めます。埼玉と群馬をつなぐ電車があります。群馬から埼玉県熊谷あたりまでは、手動のボタン方式です。熊谷を過ぎると自動ドアに切り替わります。

東京から来る方は、よくドアの開閉に困っているのを見ます。では、群馬でなぜ手動なのかというと、夏場は開けっぱなしでは車両が冷えないために閉まっています。冬場は風が強く、また風に乗って砂埃も入ってくるので閉めています。

中学生のころは群馬県内だけだったのですが、たまたま中学3年生のときに、熊谷より先に行くことがあり、突然自動ドアになり不思議な思いをしたことがあります。大人になりわかったのは、ドアの開閉や環境、なにより車両の停車時間に差があるため、乗り込んでから15分20分待つこともあるために、手動なのだわかりました。私がいた地域は信越線なのですが、ボタン以前は、車掌が少しドアを開けたあとは乗客が手でドアを空けていました。そのドアが重いなんの。今はボタンに変わりよかったです。そういったドアに違いがありますので、今後乗られる方はぜひ見てみてください。